

富岡製糸場 世界遺産登録前と 世界遺産登録後の違い

18n1128 松本 大

研究テーマ

長年富岡に住んできたが、富岡はとても田舎で観光地に適した土地とは言えない。富岡製糸場が世界遺産に登録されるにあたって変化をしていかなければならなかった。

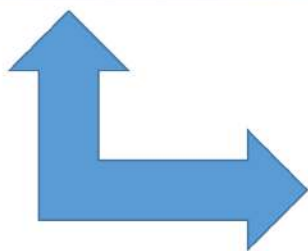


世界遺産登録後に富岡がどのようにして観光地として変化を遂げていったかを調査していく。

まずはじめに大きく変わっていったものを発見した。



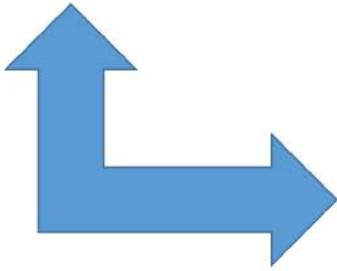
左の写真が世界遺産登録前の上州富岡駅である。殺風景であったが、下の写真のように写真一枚ではとても収まりきらないほどの大きさに変化し、非常にきれいな作りとなったことがわかる。また、世界遺産に登録されたことで上州富岡駅を降りるとすぐに群馬県立世界遺産センターが設けられた。



またもや、大きく変わったものを発見した。



左図は世界遺産登録前の富岡市役所である。こちらも普通の学校のような作りで無難な建物であるが、世界遺産登録後の富岡市役所は下図の通り、これは市役所であるのだろうか？と疑う程の建物に変化している。あまりの変化と建物のすごさに驚かされ設計者を調べると、隈研吾であった。





少しわかりづらいが
富岡製糸場の近くにな
っていくと道路の材質
が変わっているのがわかる。
きれいだからか、気持ち的に
歩きやすいような気がする。



他にも大きく都市変化を遂げた
箇所がある。
世界遺産登録前は非常に狭か
った曲がり角も広く整備されたり、
狭い道路にあった公園を撤去し、
通りやすい道路を作ったりされて
いる。
都市計画が進み豊になっていくと
いう反面、昔の風景がなくなって
いき寂しさも感じてしまう。



駐車場が非常に多く作られていた。

また、バス駐車場も存在し、富岡製糸場の風情に合った休憩所なども作られていた。

参考URL

富岡市役所:

https://search.yahoo.co.jp/image/detail?p=%E5%AF%8C%E5%B2%A1%E5%B8%82%E5%BD%B9%E6%89%80&imgurl=https%3A%2F%2Fmsp.c.yimg.jp%2Fimages%2Fv%2FFUTi93tXq405grZVGgDqGyqPZAayYuHzw6fFNhYzNCUdlzoRPFtz6Zb4jJOotEnB-QtJf0QL8DtTf_RDnaJBUFAH-u0YQXzSQxnOiYyRNEgqmS5IUqxNI9GTIT-t6Tuld0XRgvS1dkUzsTp1yDMALHRnadgH128TAXNSEu3NfbYH2gavkLZGySqDUMMgixxvytb0U0yMx-WUw0RB70YH2wE0t1V2YpNsA7rXal-UuWC3y53Qbm3lOzHSBpn5bHmUfrHW7s8TeEWPW1CX056crQ%3D%3D&refurl=https%3A%2F%2Fblog.goo.ne.jp%2Ftatebayashi_koshin%2F%2Fbd5f92e0970edceadc09250d9f9c55e5&title=%E5%AF%8C%E5%B2%A1%E5%B8%82%E5%AF%8C%E5%B2%A1%E3%80%81%E5%B8%82%E5%BD%B9%E6%89%80%E5%89%8D%E3%81%AE%E9%81%93%E7%A5%96%E7%A5%9E%E7%A2%91%20-%20%E9%A4%A8%E6%9E%97%E5%B8%82%E5%91%A8%E8%BE%BA%E3%81%AE%E5%BA%9A%E7%94%B3%E5%A1%94%E3%82%81%E3%81%90%E3%82%8A&domain=blog.goo.ne.jp&w=1130&h=740&sig=b9f25cd17d18fd69ef521513650b8697897ae840bb1d3425259ba01891ba0c76869dfa2d1c66cbae80bbeb0ca768d333dc7e9a6682641bc659118b11fb71483d

上州富岡駅: Wikipedia